

日下川流域水害対策計画【案】

変更箇所対比表

令和 7 年 6 月

国土交通省四国地方整備局
高 知 県
土佐市 佐川町 日高村

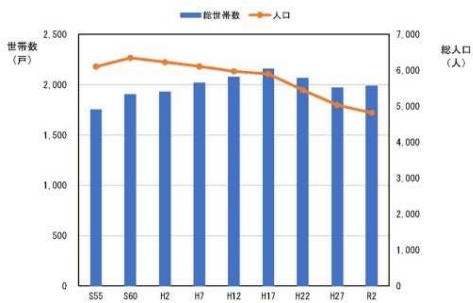
計画（素案）	計画（案）
日下川流域水害対策計画 （素案） 令和 7 年 3 月 国土交通省四国地方整備局 高 知 県 土佐市 佐川町 日高村	日下川流域水害対策計画 （案） 令和 7 年 6 月 国土交通省四国地方整備局 高 知 県 土佐市 佐川町 日高村

計画（素案）	計画（案）																																										
第1章 日下川特定都市河川流域の現状と課題 第1節 流域と河川、下水道の概要 第1項 流域の概要 日下川は、一級河川仁淀川水系仁淀川の一次支川であり、その源を佐川町下山の低山地に発して東流し、佐川町加茂地先で長竹川、日高村本郷地先で戸梶川を合わせて、仁淀川右岸の河口から約14.2km地点で合流する幹川流路延長11.7km、流域面積約38km²の河川である。 日下川流域の中央を東西に国道33号、JR土讃線が縦走しており、これに沿って日高村の市街地が細長く形成され、昭和50年(1975年)以降において宅地開発が進行している。 また、流域沿川は、豊かな自然環境を残す水田を主とする農地が広がり、生姜生産のほか、トマト園芸などが盛んである。特に施設園芸の主軸をなす高糖度トマトはブランド化を確立、「シュガートマト」として全国に誇れる日高村自慢の一品となっている。 一方で、日下川の低平地部は、昭和21年(1946年)12月の昭和南海地震により1m以上の地盤沈下が生じたとされており、仁淀川合流点から上流に向かって堤内地盤が低くなる極めて特殊な低奥型地形を成している。 日下川流域は、年平均降水量が約2,800mmを超える全国でも屈指の多雨地帯であり、集中豪雨が発生しやすい気候特性を併せ持った流域である。 日下川流域は、古くから浸水被害に悩まされ、日高村史によると、「日高村における水害の歴史は過去三百有余年にも遡る」と記されているとともに、流域における近年の宅地化の進行などにより、その被害が深刻化し、浸水被害軽減に向けた抜本的な対策が求められてきた。 表1-1 日下川特定都市河川流域の概要 <table><tr><th>項 目</th><th>流域の諸元</th><th>備考</th></tr><tr><td>特定都市河川流域</td><td>37.7km²</td><td></td></tr><tr><td>特定都市河川</td><td>日下川、派川日下川、日下川放水路、新日下川放水路、長山田川、戸梶川、渋川川、石田川、猿田川、妹背川、井峰川、長竹川、宇治谷川</td><td></td></tr><tr><td>河川勾配</td><td>日下川：約1/3,000</td><td></td></tr><tr><td>流域内市町村</td><td>日高村（約68％） 佐川町（約29％） 土佐市（約3％）</td><td>括弧書きは流域に占める割合</td></tr><tr><td>流域内人口</td><td>約6,000人</td><td>第10回河川現況調査</td></tr><tr><td>年平均降水量</td><td>約2,800mm ※本郷（旧岩目地）雨量観測所（国）</td><td>平成5年（1993年）～令和4年（2022年）の平均値 ※2004年は欠測</td></tr></table>	項 目	流域の諸元	備考	特定都市河川流域	37.7km ²		特定都市河川	日下川、派川日下川、日下川放水路、新日下川放水路、長山田川、戸梶川、渋川川、石田川、猿田川、妹背川、井峰川、長竹川、宇治谷川		河川勾配	日下川：約1/3,000		流域内市町村	日高村（約68％） 佐川町（約29％） 土佐市（約3％）	括弧書きは流域に占める割合	流域内人口	約6,000人	第10回河川現況調査	年平均降水量	約2,800mm ※本郷（旧岩目地）雨量観測所（国）	平成5年（1993年）～令和4年（2022年）の平均値 ※2004年は欠測	第1章 日下川特定都市河川流域の現状と課題 第1節 流域と河川、下水道の概要 第1項 流域の概要 日下川は、一級河川仁淀川水系仁淀川の一次支川であり、その源を佐川町下山の低山地に発して東流し、佐川町加茂地先で長竹川、日高村本郷地先で戸梶川を合わせて、仁淀川右岸の河口から約14.2km地点で合流する幹川流路延長11.7km、流域面積約38km²の河川である。 日下川流域の中央を東西に国道33号、JR土讃線が縦走しており、これに沿って日高村の市街地が細長く形成され、昭和50年(1975年)以降において宅地開発が進行している。 また、流域沿川は、豊かな自然環境を残す水田を主とする農地が広がり、生姜生産のほか、トマト園芸などが盛んである。特に施設園芸の主軸をなす高糖度トマトはブランド化を確立、「シュガートマト」として全国に誇れる日高村自慢の一品となっている。 一方で、日下川の低平地部は、昭和21年(1946年)12月の昭和南海地震により1m以上の地盤沈下が生じたとされており、仁淀川合流点から上流に向かって堤内地盤が低くなる極めて特殊な低奥型地形を成している。 日下川流域は、年平均降水量が約2,800mmを超える全国でも屈指の多雨地帯であり、集中豪雨が発生しやすい気候特性を併せ持った流域である。 日下川流域は、古くから浸水被害に悩まされ、日高村史によると、「日高村における水害の歴史は過去三百有余年にも遡る」と記されているとともに、流域における近年の宅地化の進行などにより、その被害が深刻化し、浸水被害軽減に向けた抜本的な対策が求められてきた。 表1-1 日下川特定都市河川流域の概要 <table><tr><th>項 目</th><th>流域の諸元</th><th>備考</th></tr><tr><td>特定都市河川流域</td><td>37.7km²</td><td></td></tr><tr><td>特定都市河川</td><td>日下川、派川日下川、日下川放水路、新日下川放水路、長山田川、戸梶川、渋川川、石田川、猿田川、妹背川、井峰川、長竹川、宇治谷川</td><td></td></tr><tr><td>河川勾配</td><td>日下川：約1/3,000</td><td></td></tr><tr><td>流域内市町村</td><td>日高村（約68％） 佐川町（約29％） 土佐市（約3％）</td><td>括弧書きは流域に占める割合</td></tr><tr><td>流域内人口</td><td>約6,000人</td><td>第10回河川現況調査</td></tr><tr><td>年平均降水量</td><td>約2,800mm ※本郷雨量観測所（国）</td><td>平成5年（1993年）～令和4年（2022年）の平均値 ※2004年は欠測</td></tr></table>	項 目	流域の諸元	備考	特定都市河川流域	37.7km ²		特定都市河川	日下川、派川日下川、日下川放水路、新日下川放水路、長山田川、戸梶川、渋川川、石田川、猿田川、妹背川、井峰川、長竹川、宇治谷川		河川勾配	日下川：約1/3,000		流域内市町村	日高村（約68％） 佐川町（約29％） 土佐市（約3％）	括弧書きは流域に占める割合	流域内人口	約6,000人	第10回河川現況調査	年平均降水量	約2,800mm ※本郷雨量観測所（国）	平成5年（1993年）～令和4年（2022年）の平均値 ※2004年は欠測
項 目	流域の諸元	備考																																									
特定都市河川流域	37.7km ²																																										
特定都市河川	日下川、派川日下川、日下川放水路、新日下川放水路、長山田川、戸梶川、渋川川、石田川、猿田川、妹背川、井峰川、長竹川、宇治谷川																																										
河川勾配	日下川：約1/3,000																																										
流域内市町村	日高村（約68％） 佐川町（約29％） 土佐市（約3％）	括弧書きは流域に占める割合																																									
流域内人口	約6,000人	第10回河川現況調査																																									
年平均降水量	約2,800mm ※本郷（旧岩目地）雨量観測所（国）	平成5年（1993年）～令和4年（2022年）の平均値 ※2004年は欠測																																									
項 目	流域の諸元	備考																																									
特定都市河川流域	37.7km ²																																										
特定都市河川	日下川、派川日下川、日下川放水路、新日下川放水路、長山田川、戸梶川、渋川川、石田川、猿田川、妹背川、井峰川、長竹川、宇治谷川																																										
河川勾配	日下川：約1/3,000																																										
流域内市町村	日高村（約68％） 佐川町（約29％） 土佐市（約3％）	括弧書きは流域に占める割合																																									
流域内人口	約6,000人	第10回河川現況調査																																									
年平均降水量	約2,800mm ※本郷雨量観測所（国）	平成5年（1993年）～令和4年（2022年）の平均値 ※2004年は欠測																																									
1	1																																										

計画（素案）

(2)人口・世帯数の推移

日下川流域では昭和50年(1975年)以降に宅地開発が行われ、日高村の世帯数は昭和55年(1980年)から平成17年(2005年)にかけて増加し、以降は減少傾向となっており、令和2年(2020年)には約2,000世帯となっている。



※出典「昭和55年～令和2年国勢調査結果」
日下川特定都市河川流域の大部分を占める日高村の総人口及び総世帯数を集計
図1-9 国勢調査による日高村の人口・世帯数

(3)降雨特性

日下川流域に近接する佐川雨量観測所(国)及び本郷(旧岩目地)雨量観測所(国)における年最大48時間降水量は、平成26年(2014年)台風第12号による降雨で観測史上最大の739mmを記録した。

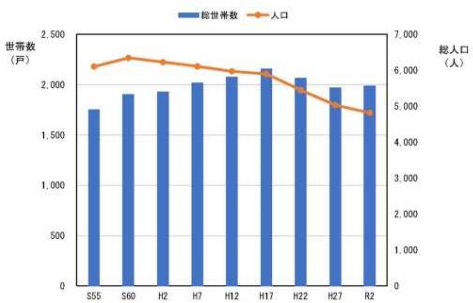


※昭和57年(1982年)以前は佐川雨量観測所、昭和58年(1983年)以降は本郷(旧岩目地)雨量観測所を適用
図1-10 年最大48時間降水量の経年変化

計画（案）

(2)人口・世帯数の推移

日下川流域では昭和50年(1975年)以降に宅地開発が行われ、日高村の世帯数は昭和55年(1980年)から平成17年(2005年)にかけて増加し、以降は減少傾向となっており、令和2年(2020年)には約2,000世帯となっている。



※出典「昭和55年～令和2年国勢調査結果」
日下川特定都市河川流域の大部分を占める日高村の総人口及び総世帯数を集計
図1-9 国勢調査による日高村の人口・世帯数

(3)降雨特性

日下川流域に近接する佐川雨量観測所(国)及び本郷雨量観測所(国)における年最大48時間降水量は、平成26年(2014年)台風第12号による降雨で観測史上最大の739mmを記録した。



※昭和57年(1982年)以前は佐川雨量観測所、昭和58年(1983年)以降は本郷雨量観測所を適用
図1-10 年最大48時間降水量の経年変化

計画（素案）	計画（案）																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
第3項 下水道の概要 日下川流域には、令和7年(2025年)3月時点で下水道は整備されておらず、具体的な計画も未定である。 第2節 流域の浸水被害状況 日下川は、洪水時に仁淀川本川の背水の影響を受けないように合流部の神母樋門を全閉するため、日下川の流下能力不足と相まって、台風などの集中豪雨により、過去に大きな浸水被害を受けている。特に、昭和50年(1975年)8月台風第5号による洪水では日下川流域の流出量の大半を内水として抱え込む形となったため、日高村の平野部のほぼ全域が水没し、死者25名を伴う床上浸水659戸、床下浸水121戸の甚大な被害を被った。 以降も平成16年(2004年)10月の台風第23号において床上浸水9戸が発生するなど、床上浸水が頻発していた中、平成26年(2014年)8月3日の台風第12号において床上浸水109戸、床下浸水50戸、浸水面積274ha、さらに、平成26年(2014年)8月10日の台風第11号において床上浸水18戸、床下浸水47戸、浸水面積214haの被害が発生し、1週間の内に2回も甚大な浸水被害が発生した。 表1-2 主要洪水一覧表 <table><tr><th colspan="2">洪水発生年月</th><th rowspan="2">発生原因</th><th rowspan="2">2日間雨量※(mm)</th><th colspan="4">被害状況</th></tr><tr><th>西暦</th><th>洪水月</th><th>浸水面積(ha)</th><th>床上浸水(戸)</th><th>床下浸水(戸)</th><th>全浸水家屋(戸)</th></tr><tr><td>1963</td><td>昭和38年 8月</td><td>台風第 9号</td><td>531</td><td>432</td><td>189</td><td>12</td><td>201</td></tr><tr><td>1970</td><td>昭和45年 8月</td><td>台風第10号</td><td>267</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>1971</td><td>昭和46年 8月</td><td>台風第23号</td><td>428</td><td>－</td><td>19</td><td>77</td><td>96</td></tr><tr><td>1975</td><td>昭和50年 8月</td><td>台風第 5号</td><td>640</td><td>545</td><td>659</td><td>121</td><td>780</td></tr><tr><td>1976</td><td>昭和51年 9月</td><td>台風第17号</td><td>567</td><td>600</td><td>515</td><td>82</td><td>597</td></tr><tr><td>1980</td><td>昭和55年 5月</td><td>豪雨</td><td>279</td><td>129.5</td><td>0</td><td>15</td><td>15</td></tr><tr><td>1997</td><td>平成 9年 9月</td><td>豪雨</td><td>304</td><td>0.03</td><td>3</td><td>1</td><td>4</td></tr><tr><td>2003</td><td>平成15年 5月</td><td>台風第 4号</td><td>393</td><td>0.02</td><td>8</td><td>8</td><td>16</td></tr><tr><td>2004</td><td>平成16年 8月</td><td>台風第10号</td><td>520</td><td>－</td><td>2</td><td>9</td><td>11</td></tr><tr><td>2004</td><td>平成16年 9月</td><td>9月大雨</td><td>269</td><td>－</td><td>7</td><td>9</td><td>16</td></tr><tr><td>2004</td><td>平成16年 9月</td><td>台風第21号</td><td>307</td><td>－</td><td>5</td><td>9</td><td>14</td></tr><tr><td>2004</td><td>平成16年10月</td><td>台風第23号</td><td>401</td><td>－</td><td>9</td><td>26</td><td>35</td></tr><tr><td>2005</td><td>平成17年 9月</td><td>台風第14号</td><td>415</td><td>－</td><td>4</td><td>3</td><td>7</td></tr><tr><td>2006</td><td>平成18年 4月</td><td>豪雨</td><td>347</td><td>0.3</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>2007</td><td>平成19年 7月</td><td>台風第 4号</td><td>471</td><td>0.08</td><td>4</td><td>6</td><td>10</td></tr><tr><td>2014</td><td>平成26年 8月</td><td>台風第12号</td><td>690</td><td>274.4</td><td>109</td><td>50</td><td>159</td></tr><tr><td>2014</td><td>平成26年 8月</td><td>台風第11号</td><td>397</td><td>214</td><td>18</td><td>47</td><td>65</td></tr></table> ※昭和57年(1982年)以前は佐川雨量観測所、昭和58年(1983年)以降は本郷（旧岩目地）雨量観測所を適用	洪水発生年月		発生原因	2日間雨量※(mm)	被害状況				西暦	洪水月	浸水面積(ha)	床上浸水(戸)	床下浸水(戸)	全浸水家屋(戸)	1963	昭和38年 8月	台風第 9号	531	432	189	12	201	1970	昭和45年 8月	台風第10号	267	－	－	－	－	1971	昭和46年 8月	台風第23号	428	－	19	77	96	1975	昭和50年 8月	台風第 5号	640	545	659	121	780	1976	昭和51年 9月	台風第17号	567	600	515	82	597	1980	昭和55年 5月	豪雨	279	129.5	0	15	15	1997	平成 9年 9月	豪雨	304	0.03	3	1	4	2003	平成15年 5月	台風第 4号	393	0.02	8	8	16	2004	平成16年 8月	台風第10号	520	－	2	9	11	2004	平成16年 9月	9月大雨	269	－	7	9	16	2004	平成16年 9月	台風第21号	307	－	5	9	14	2004	平成16年10月	台風第23号	401	－	9	26	35	2005	平成17年 9月	台風第14号	415	－	4	3	7	2006	平成18年 4月	豪雨	347	0.3	1	2	3	2007	平成19年 7月	台風第 4号	471	0.08	4	6	10	2014	平成26年 8月	台風第12号	690	274.4	109	50	159	2014	平成26年 8月	台風第11号	397	214	18	47	65	第3項 下水道の概要 日下川流域には、令和7年(2025年)3月時点で下水道は整備されておらず、具体的な計画も未定である。 第2節 流域の浸水被害状況 日下川は、洪水時に仁淀川本川の背水の影響を受けないように合流部の神母樋門を全閉するため、日下川の流下能力不足と相まって、台風などの集中豪雨により、過去に大きな浸水被害を受けている。特に、昭和50年(1975年)8月台風第5号による洪水では日下川流域の流出量の大半を内水として抱え込む形となったため、日高村の平野部のほぼ全域が水没し、死者25名を伴う床上浸水659戸、床下浸水121戸の甚大な被害を被った。 以降も平成16年(2004年)10月の台風第23号において床上浸水9戸が発生するなど、床上浸水が頻発していた中、平成26年(2014年)8月3日の台風第12号において床上浸水109戸、床下浸水50戸、浸水面積274ha、さらに、平成26年(2014年)8月10日の台風第11号において床上浸水18戸、床下浸水47戸、浸水面積214haの被害が発生し、1週間の内に2回も甚大な浸水被害が発生した。 表1-2 主要洪水一覧表 <table><tr><th colspan="2">洪水発生年月</th><th rowspan="2">発生原因</th><th rowspan="2">2日間雨量※(mm)</th><th colspan="4">被害状況</th></tr><tr><th>西暦</th><th>洪水月</th><th>浸水面積(ha)</th><th>床上浸水(戸)</th><th>床下浸水(戸)</th><th>全浸水家屋(戸)</th></tr><tr><td>1963</td><td>昭和38年 8月</td><td>台風第 9号</td><td>531</td><td>432</td><td>189</td><td>12</td><td>201</td></tr><tr><td>1970</td><td>昭和45年 8月</td><td>台風第10号</td><td>267</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>1971</td><td>昭和46年 8月</td><td>台風第23号</td><td>428</td><td>－</td><td>19</td><td>77</td><td>96</td></tr><tr><td>1975</td><td>昭和50年 8月</td><td>台風第 5号</td><td>640</td><td>545</td><td>659</td><td>121</td><td>780</td></tr><tr><td>1976</td><td>昭和51年 9月</td><td>台風第17号</td><td>567</td><td>600</td><td>515</td><td>82</td><td>597</td></tr><tr><td>1980</td><td>昭和55年 5月</td><td>豪雨</td><td>279</td><td>129.5</td><td>0</td><td>15</td><td>15</td></tr><tr><td>1997</td><td>平成 9年 9月</td><td>豪雨</td><td>304</td><td>0.03</td><td>3</td><td>1</td><td>4</td></tr><tr><td>2003</td><td>平成15年 5月</td><td>台風第 4号</td><td>393</td><td>0.02</td><td>8</td><td>8</td><td>16</td></tr><tr><td>2004</td><td>平成16年 8月</td><td>台風第10号</td><td>520</td><td>－</td><td>2</td><td>9</td><td>11</td></tr><tr><td>2004</td><td>平成16年 9月</td><td>9月大雨</td><td>269</td><td>－</td><td>7</td><td>9</td><td>16</td></tr><tr><td>2004</td><td>平成16年 9月</td><td>台風第21号</td><td>307</td><td>－</td><td>5</td><td>9</td><td>14</td></tr><tr><td>2004</td><td>平成16年10月</td><td>台風第23号</td><td>401</td><td>－</td><td>9</td><td>26</td><td>35</td></tr><tr><td>2005</td><td>平成17年 9月</td><td>台風第14号</td><td>415</td><td>－</td><td>4</td><td>3</td><td>7</td></tr><tr><td>2006</td><td>平成18年 4月</td><td>豪雨</td><td>347</td><td>0.3</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>2007</td><td>平成19年 7月</td><td>台風第 4号</td><td>471</td><td>0.08</td><td>4</td><td>6</td><td>10</td></tr><tr><td>2014</td><td>平成26年 8月</td><td>台風第12号</td><td>690</td><td>274.4</td><td>109</td><td>50</td><td>159</td></tr><tr><td>2014</td><td>平成26年 8月</td><td>台風第11号</td><td>397</td><td>214</td><td>18</td><td>47</td><td>65</td></tr></table> ※昭和57年(1982年)以前は佐川雨量観測所、昭和58年(1983年)以降は本郷雨量観測所を適用	洪水発生年月		発生原因	2日間雨量※(mm)	被害状況				西暦	洪水月	浸水面積(ha)	床上浸水(戸)	床下浸水(戸)	全浸水家屋(戸)	1963	昭和38年 8月	台風第 9号	531	432	189	12	201	1970	昭和45年 8月	台風第10号	267	－	－	－	－	1971	昭和46年 8月	台風第23号	428	－	19	77	96	1975	昭和50年 8月	台風第 5号	640	545	659	121	780	1976	昭和51年 9月	台風第17号	567	600	515	82	597	1980	昭和55年 5月	豪雨	279	129.5	0	15	15	1997	平成 9年 9月	豪雨	304	0.03	3	1	4	2003	平成15年 5月	台風第 4号	393	0.02	8	8	16	2004	平成16年 8月	台風第10号	520	－	2	9	11	2004	平成16年 9月	9月大雨	269	－	7	9	16	2004	平成16年 9月	台風第21号	307	－	5	9	14	2004	平成16年10月	台風第23号	401	－	9	26	35	2005	平成17年 9月	台風第14号	415	－	4	3	7	2006	平成18年 4月	豪雨	347	0.3	1	2	3	2007	平成19年 7月	台風第 4号	471	0.08	4	6	10	2014	平成26年 8月	台風第12号	690	274.4	109	50	159	2014	平成26年 8月	台風第11号	397	214	18	47	65
洪水発生年月		発生原因			2日間雨量※(mm)	被害状況																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
西暦	洪水月		浸水面積(ha)	床上浸水(戸)		床下浸水(戸)	全浸水家屋(戸)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1963	昭和38年 8月	台風第 9号	531	432	189	12	201																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1970	昭和45年 8月	台風第10号	267	－	－	－	－																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1971	昭和46年 8月	台風第23号	428	－	19	77	96																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1975	昭和50年 8月	台風第 5号	640	545	659	121	780																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1976	昭和51年 9月	台風第17号	567	600	515	82	597																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1980	昭和55年 5月	豪雨	279	129.5	0	15	15																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1997	平成 9年 9月	豪雨	304	0.03	3	1	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2003	平成15年 5月	台風第 4号	393	0.02	8	8	16																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2004	平成16年 8月	台風第10号	520	－	2	9	11																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2004	平成16年 9月	9月大雨	269	－	7	9	16																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2004	平成16年 9月	台風第21号	307	－	5	9	14																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2004	平成16年10月	台風第23号	401	－	9	26	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2005	平成17年 9月	台風第14号	415	－	4	3	7																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2006	平成18年 4月	豪雨	347	0.3	1	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2007	平成19年 7月	台風第 4号	471	0.08	4	6	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2014	平成26年 8月	台風第12号	690	274.4	109	50	159																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2014	平成26年 8月	台風第11号	397	214	18	47	65																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
洪水発生年月		発生原因	2日間雨量※(mm)	被害状況																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
西暦	洪水月			浸水面積(ha)	床上浸水(戸)	床下浸水(戸)	全浸水家屋(戸)																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1963	昭和38年 8月	台風第 9号	531	432	189	12	201																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1970	昭和45年 8月	台風第10号	267	－	－	－	－																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1971	昭和46年 8月	台風第23号	428	－	19	77	96																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1975	昭和50年 8月	台風第 5号	640	545	659	121	780																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1976	昭和51年 9月	台風第17号	567	600	515	82	597																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1980	昭和55年 5月	豪雨	279	129.5	0	15	15																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1997	平成 9年 9月	豪雨	304	0.03	3	1	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2003	平成15年 5月	台風第 4号	393	0.02	8	8	16																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2004	平成16年 8月	台風第10号	520	－	2	9	11																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2004	平成16年 9月	9月大雨	269	－	7	9	16																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2004	平成16年 9月	台風第21号	307	－	5	9	14																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2004	平成16年10月	台風第23号	401	－	9	26	35																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2005	平成17年 9月	台風第14号	415	－	4	3	7																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2006	平成18年 4月	豪雨	347	0.3	1	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2007	平成19年 7月	台風第 4号	471	0.08	4	6	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2014	平成26年 8月	台風第12号	690	274.4	109	50	159																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
2014	平成26年 8月	台風第11号	397	214	18	47	65																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
10	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

計画（素案）	計画（案）
日下川放水路が完成して以降、大きな浸水被害は発生していなかったが、平成15年(2003年)以降の頻発する床上浸水被害に対して、国・高知県・日高村が連携して、それぞれの役割分担のもと総合的な治水対策を推進するため、「日下川流域総合治水計画」を平成25年(2013年)3月に策定し、排水ポンプ車配置ヤードの整備や内水浸水センサ設置などを実施した。また、平成25年(2013年)12月には河川整備計画を策定し、日下川及び戸梶川の河川整備を位置付けた。 しかし、平成26年(2014年)8月台風第12号洪水により、岩目地^{※2}雨量観測所において観測史上最大の雨量を記録し、甚大な浸水被害が発生したため、平成27年(2015年)に床上浸水対策特別緊急事業に着手した。「日下川流域総合治水計画」は平成27年(2015年)3月に改訂し、計画名称を「日下川総合内水対策計画」に変更(平成28年(2016年)第2回改訂)し、国・高知県・日高村が連携して、ハード・ソフト一体となった総合的な内水対策を進めることにより、平成26年(2014年)8月台風第12号による床上浸水被害の解消を図るとともに、その機能を維持させることとした。併せて、河川整備計画を平成28年(2016年)12月に変更し、支川対策を位置付けた。令和6年(2024年)3月に国による3本目の新日下川放水路の建設が完成したことで、高知県による日下川（戸梶川合流点から上流約4,400m区間）及び戸梶川（日下川合流点上流の約2,050m区間）の河道改修、日高村による浸水防止壁等の建設と併せ、対策が完了した。 また、日高村では、水害の村から、水・自然と共存する村を目指すため、まちづくりの指針として「水害に強いまちづくり条例」が制定され、令和5年(2023年)1月に施行した。この条例では、安全で安心なまちづくりを推進するために、建物の床高などを規制し、村民の命や財産を守る「日高村浸水予想区域」を指定した。また、雨水の「貯留」・「浸透」や洪水による氾濫水の「貯留」を阻害する「貯留浸透阻害行為」を行う場合、事前に村長に届出を行う規制を設けた。 令和6年(2024年)度現在、日下川では高知県によって平成31年(2019年)に大規模特定河川事業に着手し、神母樋門から上流670m区間の河道改修を行うとともに、令和6年(2024年)9月に河川整備計画を変更し、長竹川の河道改修を位置付け、河道の掘削等を予定している。 ※2：現在は本郷雨量観測所  写真1-4 新日下川放水路 写真1-5 日下川河川改修状況	日下川放水路が完成して以降、大きな浸水被害は発生していなかったが、平成15年(2003年)以降の頻発する床上浸水被害に対して、国・高知県・日高村が連携して、それぞれの役割分担のもと総合的な治水対策を推進するため、「日下川流域総合治水計画」を平成25年(2013年)3月に策定し、排水ポンプ車配置ヤードの整備や内水浸水センサ設置などを実施した。また、平成25年(2013年)12月には河川整備計画を策定し、日下川及び戸梶川の河川整備を位置付けた。 しかし、平成26年(2014年)8月台風第12号洪水により、本郷雨量観測所において観測史上最大の雨量を記録し、甚大な浸水被害が発生したため、平成27年(2015年)に床上浸水対策特別緊急事業に着手した。「日下川流域総合治水計画」は平成27年(2015年)3月に改訂し、計画名称を「日下川総合内水対策計画」に変更(平成28年(2016年)第2回改訂)し、国・高知県・日高村が連携して、ハード・ソフト一体となった総合的な内水対策を進めることにより、平成26年(2014年)8月台風第12号による床上浸水被害の解消を図るとともに、その機能を維持させることとした。併せて、河川整備計画を平成28年(2016年)12月に変更し、支川対策を位置付けた。令和6年(2024年)3月に国による3本目の新日下川放水路の建設が完成したことで、高知県による日下川（戸梶川合流点から上流約4,400m区間）及び戸梶川（日下川合流点上流の約2,050m区間）の河道改修、日高村による浸水防止壁等の建設と併せ、対策が完了した。 また、日高村では、水害の村から、水・自然と共存する村を目指すため、まちづくりの指針として「水害に強いまちづくり条例」が制定され、令和5年(2023年)1月に施行した。この条例では、安全で安心なまちづくりを推進するために、建物の床高などを規制し、村民の命や財産を守る「日高村浸水予想区域」を指定した。また、雨水の「貯留」・「浸透」や洪水による氾濫水の「貯留」を阻害する「貯留浸透阻害行為」を行う場合、事前に村長に届出を行う規制を設けた。 令和6年(2024年)度現在、日下川では高知県によって平成31年(2019年)に大規模特定河川事業に着手し、神母樋門から上流670m区間の河道改修を行うとともに、令和6年(2024年)9月に河川整備計画を変更し、長竹川の河道改修を位置付け、河道の掘削等を予定している。  写真1-4 新日下川放水路 写真1-5 日下川河川改修状況 表1-3 日下川治水事業の概要

計画（素案）

一方、近年の気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化を踏まえ、計画を上回る洪水が発生した場合においても、人命、資産、社会経済の被害を可能な限り軽減できるような流域治水対策を推進する。

各主体において実施する整備の計画雨量については、必ずしも本計画の降雨に縛られるものではなく、降雨・流出特性の違いや過去の浸水実績等により、各々の流域の特徴から第4章に記載する本計画における河川管理者が行う整備は、河川整備計画に沿ったものとする。

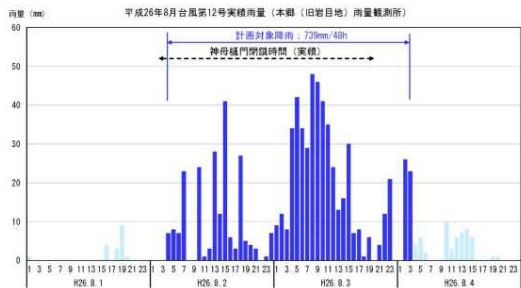


図2-5 都市浸水の発生防止・軽減を図るべき目標となる降雨

第5節 流域分担に関する考え方

計画対象降雨の平成26年(2014年)8月台風第12号実績降雨により神母樋門閉鎖から日下川の内水位が最大となる時点までの総流出量の約13,296千 m^3 に対して、これまでの河川整備により床上浸水解消を図っており、湛水量（氾濫量）は約3,899千 m^3 （床上浸水発生）から約1,593千 m^3 （床下浸水）まで大幅に減少している。

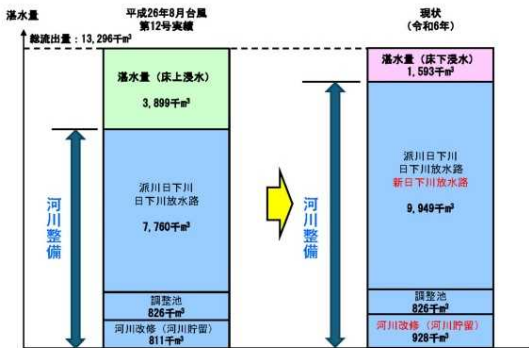


図2-6 これまでの河川整備等による湛水量の減少

計画（案）

一方、近年の気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化を踏まえ、計画を上回る洪水が発生した場合においても、人命、資産、社会経済の被害を可能な限り軽減できるような流域治水対策を推進する。

各主体において実施する整備の計画雨量については、必ずしも本計画の降雨に縛られるものではなく、降雨・流出特性の違いや過去の浸水実績等により、各々の流域の特徴から第4章に記載する本計画における河川管理者が行う整備は、河川整備計画に沿ったものとする。

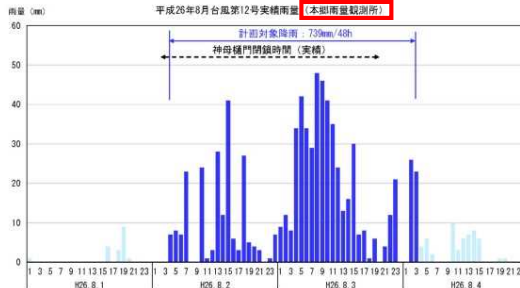


図2-5 都市浸水の発生防止・軽減を図るべき目標となる降雨

第5節 流域分担に関する考え方

計画対象降雨の平成26年(2014年)8月台風第12号実績降雨により神母樋門閉鎖から日下川の内水位が最大となる時点までの総流出量の約13,296千 m^3 に対して、これまでの河川整備により床上浸水解消を図っており、湛水量（氾濫量）は約3,899千 m^3 （床上浸水発生）から約1,593千 m^3 （床下浸水）まで大幅に減少している。

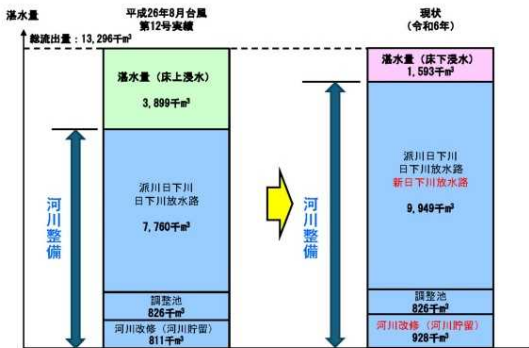


図2-6 これまでの河川整備等による湛水量の減少

計画（素案）	計画（案）
第3節 市町村が行う河川の整備 第1項 普通河川等の整備 市町村が管理する普通河川や水路等においても、沿川地域の市街地・農地への浸水被害を防止・軽減するとともに、雨水の一時的な貯留等に活用を図るため、必要に応じて、河道掘削、護岸整備等を行う。 整備前  整備中  写真4-3 日高村が行う水路の整備（岡花地区） 第2項 浸水防止壁、雨水排水ポンプ 日高村では、日下川総合内水対策計画に基づき、馬越地区には浸水防止壁及び雨水排水ポンプを設置している。洪水時には、施設の機能を適切に発揮させるため、県道291号に持ち運び式洪水防止壁の設置及び雨水排水ポンプの運転を行う。 また、計画対象降雨のみならず、気候変動による影響も踏まえ、河川整備実施後も浸水被害の発生が想定される地区を対象に、雨水排水ポンプによる効果や下流域への負荷を評価した上で、雨水排水ポンプの整備・増強を行う。   写真4-4 浸水防止壁と雨水排水ポンプ（馬越地区）	第3節 市町村が行う河川の整備 第1項 普通河川等の整備 市町村が管理する普通河川や水路等においても、沿川地域の市街地・農地への浸水被害を防止・軽減するとともに、雨水の一時的な貯留等に活用を図るため、必要に応じて、河道掘削、護岸整備等を行う。 整備前  整備後  写真4-3 日高村が行う水路の整備（岡花地区） 第2項 浸水防止壁、雨水排水ポンプ 日高村では、日下川総合内水対策計画に基づき、馬越地区には浸水防止壁及び雨水排水ポンプを設置している。洪水時には、施設の機能を適切に発揮させるため、県道291号に持ち運び式洪水防止壁の設置及び雨水排水ポンプの運転を行う。 また、計画対象降雨のみならず、気候変動による影響も踏まえ、河川整備実施後も浸水被害の発生が想定される地区を対象に、雨水排水ポンプによる効果や下流域への負荷を評価した上で、雨水排水ポンプの整備・増強を行う。   写真4-4 浸水防止壁と雨水排水ポンプ（馬越地区）